

平成25年度全国学力・学習状況調査 結果について

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析して、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。

2 調査の対象学年

小学校第6学年、中学校第3学年

3 調査の内容

- ① 教科に関する調査（国語、算数・数学）
 - ・主として「知識」に関する問題
 - ・主として「活用」に関する問題
- ② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査
 - ・児童生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

4 実施日

平成25年4月24日（水）

5 調査対象

- 市内全小学校第6学年児童、全中学校第3学年生徒及び各学校

6 平成25年度全国学力・学習状況調査の函館市の結果

(1) 概要

① 教科に関する調査

※ 調査結果の標記について

- 「やや上回る」「やや下回る」→全国の平均正答率、全道の平均正答率との差が5%未満の場合
- 「上回る」「下回る」→全国の平均正答率、全道の平均正答率との差が5%以上の場合

○ 小学校6年生

国語A	○ 全国の平均正答率、全道の平均正答率をやや下回る。
国語B	○ 全国の平均正答率をやや下回ったが、ほぼ全道の平均正答率と同程度である。
算数A	○ 全国の平均正答率をやや下回ったが、全道の平均正答率をやや上回る。
算数B	○ 全国の平均正答率、全道の平均正答率をやや下回る。

○ 中学校3年生

国語A	○ 全国の平均正答率、全道の平均正答率をやや下回る。
国語B	○ 全国の平均正答率、全道の平均正答率をやや下回る。
数学A	○ 全国の平均正答率、全道の平均正答率をやや下回る。
数学B	○ 全国の平均正答率、全道の平均正答率をやや下回る。

〈改善が見られる点〉

- 全国の平均正答率との差が縮小していること。
- 中学校における無回答率が減少していること。
- 調査対象の中学校3年生が、小学校6年生の際の全国学力・学習状況調査の結果と比較して、全国の平均正答率との差が縮小していること。 など

〈課題〉

- 知識と比較して活用に関する問題に課題があること。 など

② 生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査（児童生徒用質問紙調査）

〈全国平均よりも高い傾向が見られる項目〉

○ 小学校6年生

- ・ 授業の予習や復習をしている。
- ・ 普段の授業で本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っている。 など

○ 中学校3年生

- ・ 授業の復習をしている。
- ・ 読書は好きである。 など

※ 特に、この2項目は、本年度初めて全国よりも高い傾向を示しました。

〈課題〉

○ 小学校6年生，中学校3年生

- ・ 平日3時間以上、テレビゲームをしている。
- ・ 授業時間以外の1日当たりの学習時間が小学校1時間未満，中学校2時間未満である。
- ・ 今住んでいる地域の行事に参加している児童生徒が少ない。 など

※ 児童生徒用質問紙の状況については、集計結果がまとまり次第、改めてホームページに掲載する予定です。

(2) 各教科の状況

① 小学校

ア 国語

(ア) 状況

〔国語A〕	〔国語B〕
<p>〈成果が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学年別漢字配当表に表示されている漢字を正しく読むこと。・ 接続語「だから」のもつ働きを理解すること。・ スピーチの表現を工夫すること。	<p>〈成果が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ 目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書くこと。
<p>〈課題が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学年別漢字配当表に表示されている漢字を正しく書くこと。・ 文の定義を理解すること。・ 広告を読み、編集の特徴を捉えること。	<p>〈課題が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">・ 目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書くこと。・ 推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉えること。

(イ) 考察

<p>【改善策の例】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 聞く、話す、書くなど、多様な言語活動を授業に位置付ける。○ 1時間で学んだことを授業の最後に振り返らせる。○ 他教科と関連させ、比較したり、引用したりしながら、資料の読み取りをさせる。○ 聞く目的を明らかにしながら、集中して聞く姿勢を身に付けさせる。

イ 算数

(ア) 状況

【算数A】	【算数B】
<p>〈成果が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 繰り下がりのある減法の計算をすること。 ・ () を用いた整数の計算をすること。 ・ 同分母の分数の加法の計算をすること。 ・ 円柱について、見取図の高さと展開図の側面の辺の長さとは対応していることを理解すること。 ・ 棒の長さで最小目盛りに着目して、数値が最も大きい項目とその数値を読み取ること。 ・ 小数の加法の計算をすること。 <hr/> <p>〈課題が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をすること。 ・ 示された位までの概数にする際、一つ下の位の数値を四捨五入して処理する方法について理解すること。 ・ 1 a (1 アール) の面積と等しい正方形の辺の長さを理解すること。 ・ 単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解すること。 	<p>〈成果が見られた内容〉</p> <p>※ 該当無し</p> <hr/> <p>〈課題が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選択すること。 ・ 示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解すること。 ・ 表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述すること。 ・ 長方形と台形の分割の仕方を比べて、台形の場合は4等分にならないわけを選択すること。 ・ 単位量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述すること。 ・ 示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断すること。 ・ 割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し、その判断の理由を記述すること。

(イ) 考察

<p>【改善策の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 問題を図に表し、数量の関係(基準量・比較量・割合)を的確に読み取らせる。 ○ 考えた根拠をグラフ、図、記号等を用いながら、説明させる。 ○ 身の回りにある事象を、図に置き換える等して、抽象化する作業に取り組ませる。 ○ 学習した内容を日常生活に生かしたり、日常生活の中で大きさ、重さ、長さ広さなどの検討を付けたりする学習を繰り返す。 ○ 記述した内容を見直し、よりよい記述へと書き直す活動を取り入れる。

② 中学校

ア 国語

(ア) 状況

〔国語A〕	〔国語B〕
<p>〈成果が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">・描写の効果を考え、内容を理解すること。・文脈の中における語句の意味を理解すること。・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと。・歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと。	<p>〈成果が見られた内容〉</p> <p>※ 該当無し</p> <hr/> <p>〈課題が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">・図と文章との関係を捉えること。・課題を決め、それに応じた情報の収集方法を考えること。・文章の構成や表現の特徴を捉えること。
<p>〈課題が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">・文脈に即して漢字を正しく書くこと。・文章の展開に即して内容を捉えること。・敬語の働きについて理解すること。・文の接続に注意し、伝えたい事柄を明確にして書くこと。・語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと。	

(イ) 考察

<p>【改善策の例】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 聞く、話す、書くなど、多様な言語活動を授業に位置付ける。○ 必要な事柄を明確にした上で、情報を取捨選択しながら読ませる。○ 文章の展開や構成、表現等の特徴を捉えて音読させる。○ 相手に伝えたい事柄を明確にした上で、文章を書かせる。
--

イ 数学

(ア) 状況

〔数学A〕	〔数学B〕
<p>〈成果が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">具体的な事象における数量の関係を捉え、連立二元一次方程式をつくること。証明の必要性和意味を理解すること。 <hr/> <p>〈課題が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">与えられた文字式の意味を、具体的な事象の中で読み取ること。二元一次方程式の解の意味を理解すること。空間における2直線の位置関係を理解すること。平均値の意味を理解すること。平行四辺形になるための条件を理解すること。簡単な場合について確率を求めること。	<p>〈成果が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">与えられた表から情報を適切に選択し、処理すること。 <hr/> <p>〈課題が見られた内容〉</p> <ul style="list-style-type: none">言葉で表された式の数学的な意味を考え、事象を式の意味に即して解釈すること。事象を式の意味に即して解釈し、その結果を数学的な表現を用いて説明すること。発展的に考え、予想した事柄を説明すること。問題場面における考察の対象を明確に捉えること。数学的な結果を事象に即して解釈すること。事象と式の対応を的確に捉え、事柄が成り立つ理由を説明すること。

(イ) 考察

<p>【改善策の例】</p> <ul style="list-style-type: none">○ 書いて考え、考えて書く活動を積み重ねる。○ 図や式、言葉を結び付けて説明する活動を積み重ねる。○ 実生活における資料や他教科の学習から、平均値・中央値・最頻値等を求めさせる。○ 用語の意味と実際の操作を結び付けて理解させるため、言葉で表しながら図形を操作させる。○ 日常生活の中にある数量の変化や対応の様子を調べて、関係性を考えさせる。○ 既習の語句について、繰り返し意味を確認させる。○ 数学的な表現を用いて、自分の考えや予想した事柄について説明させる。
